

市防災訓練に参加しましょう!!

津波避難訓練チェックリスト

市では、11月7日(土)に一斉津波避難訓練を実施します。

防災訓練は、「自分の命は自分で守る」ための練習です。今回は、避難訓練に参加するために意識してほしいポイントについて紹介します。

① 避難訓練の前に

☐ 避難経路、津波避難場所を確認する ☐ 非常用持ち出し袋を用意する

① 地震発生～避難開始まで

☐ 揺れが収まるまでは安全確保行動をとる。揺れが収まったら避難する。

※強い地震が発生すると、数分間揺れが継続します。その間は動くことは困難です。訓練では、地震発生をお知らせする防災行政無線を2分程度放送しますので、放送が終わるのを目安として避難を開始してください。

揺れが収まったら

☐ 出口を確保する ☐ 非常用持ち出し袋を持つ ☐ 火の始末、ブレーカーを落とす(二次災害を防ぐため)

② 津波警報発表、市指定津波避難場所やまちで決めた避難場所へ避難

☐ 市からの避難指示を待たずに、避難を開始する

☐ 非常用持ち出し袋をもって避難する ☐ 避難の声かけをしながら逃げる
☐ 津波到達予想時間より早く逃げる ☐ 避難経路に危険がないか確認する

・崩れそうなブロック塀などがないか
 ・海、川沿いを通っていないか
 ・迂回路はあるか

③ 市指定津波避難場所・まちで決めた避難場所へ到着

☐ 町内会・自治会のかたに避難したことを伝え、市に避難者数を報告する

※決まった場所に集まることで、津波から身を守ることはもちろんのこと、住民同士の安否確認ができます。また、市へ避難者数を報告することで、避難者(被災者)がどれだけいるのかを市と町内会などのお互いが把握できます。

☐ 地震発生から何分で避難完了できたか確認する

④ 年1回の防災訓練を「備え」のきっかけとする

一斉津波避難訓練参加にあたってのポイントなど、くわしくは市ホームページを確認してください。各町内会などで実施される独自訓練については、回覧されるチラシを参照してください。



市ホームページ



一人一人が備えてこそ!!
防災力UP! 鳥羽

vol.160

総務課防災危機管理室
 TEL 25-11118

温かい日本の夏

これまで、日本の夏といえば、まず思い浮かぶのは厳しい暑さでした。私は暑さが苦手なこともあり、次の季節を待ち遠しく思っていました。しかし、鳥羽で過ごすうちに、少しずつ夏の見方が変わってきました。

先日、答志島の和具でお盆を過ごしました。和具では、毎年8月16日に精霊船流しが行われます。ホラ貝の音が響く中、地域のかたがたと都市部から訪れた大学生たちが協力して作った竹製の精霊船を、みんなで担いで走りながら港まで運び、漁船で沖へ流します。こうしてお盆の終わりに先祖の霊を見送るのでした。

また、盆踊りにも参加しました。柔らかな灯りに照らされた会場には、初めはどこか厳かな空気が漂っていましたが、夜が更けるにつれて賑やかな温かい祭り



和具のお盆

の雰囲気へと変わっていきます。何より感動したのは、世代を超えて地域全体がそこに集まっていることでした。子どもたちが大人の踊りを真似し、その様子をみんなが笑顔で見守る光景に、お盆の行事が単なる伝統ではなく、人と人、そして世代をつなぐ時間でもあるのだと感じました。

こうした行事に実際に参加すると、日本の夏には暑さだけではない楽しさがあることに気づきます。最近では、近くの花火大会やお祭りを調べることも増えました。暑さは相変わらず苦手ですが、今では夏が少し待ち遠しい季節になりました。



T O B A

観光商工課 TEL 25-11157

国際交流員フランス・ドリアンがみつけた
Fantastique

Vol.15

